



松本市民生委員・児童委員協議会だより

第84号

令和4年4月30日

ふれあい

発行者 松本市双葉4番16号
松本市民生委員・児童委員協議会
会長 草深邦子



芳川地区 「芳川まるっと青空市」 (11月平田公園)
青空で気持ちのいい一日。みなさん大勢きていただきました。



松南地区
「ふれあい健康教室」 (3月18日)
心安らぐバイオリンの演奏をみなさんに聴いていただきました。

役員名簿	P2
本年度の主な事業計画のご案内	P3
主任児童委員さんにお話を聞きました	P4
連載 今回のニューフェイス	P5

地域包括支援センター／地区活動の様子 ...	P6
Myday 私の1日	P7
行政の窓・つぶやき・編集後記	P8

松本市民生委員・児童委員協議会 主任児童委員会・5専門部会

役員名簿と本年度の主な事業計画のご案内

松本市民生委員・児童委員協議会では、民生児童委員活動に必要な専門事項に関する調査研究や、相互の情報交換を行うために、1委員会・5専門部会を設置し主体的な活動を行っています。本年も充実した活動をするために皆様のご協力をお願いいたします。

主任児童委員会

委員長	赤井 幸子 (中山)
副委員長	中嶋 順子 (庄内)
会計	桃井多美子 (今井)
監事	荻原しほみ (田川)
監事	小林 薫 (和田)
河北部	大蔭 住子 (中央)
河西部	森下 裕子 (松南)
河西部	近松知志子 (島内)
南部	百瀬 千春 (寿)
東山部	田中 文子 (本郷)

・5月16日(月) 【視察研修】

松本児童園

岡谷こどものくに (岡谷市)

・7月11日(月) 【研修】

子どもを取り巻くネット環境

・9月26日(月) 【研修】

心も身体も元気に過ごそう

小川春奈氏講演

広報部会

部会長	藤森 新一 (島立)
副部会長	本田けい子 (芳川)
会計	西田 輝男 (庄内)
書記	金子 秀實 (中央)
監事	根津 成史 (本郷)
顧問	木藤 永子 (鎌田)
顧問	朝倉 康直 (入山辺)

・ふれあい84号

4月30日 発行

・ふれあい85号

8月31日 発行

・ふれあい86号

11月30日 発行

各号で企画会議及び編集会議を開催

社会福祉部会

部会長	巢山 修作 (東部)
副部会長	木次由美子 (神林)
会計	宮嶋 成子 (庄内)
書記	中村まり子 (島内)
監事	米倉 初美 (本郷)
顧問	中山 昭 (松南)

・4月20日(水) 【研修】

社会福祉制度について

講師・松本市福祉計画課

・6月13日(月) 【視察研修】

社会福祉法人 小諸学舎 訪問

・10月7日(月) 【研修】

生活保護制度について

講師・松本市生活保護課

児童福祉部会

部会長	後藤 充子 (城北)
副部会長	百瀬 純子 (第二)
会計	白石香世子 (寿)
書記	木村 恭子 (本郷)
監事	高山美代子 (島内)
顧問	岩垂 修一 (笹賀)

・4月19日(火) 【研修】

児童相談所、児童虐待の現状について

・6月14日(火) 【視察研修】

・9月下旬 【研修】

高齢者福祉部会

部会長	大沢 勝人 (島内)
副部会長	白澤 則明 (第三)
会計	小木曾 祥壽 (芳川)
書記	橋浦満知子 (本郷)
監事	青木多美子 (白坂)
顧問	中澤 伸一 (芳川)

・4月15日(金) 【研修】

高齢者福祉制度について

・7月13日(水) 【視察研修】

・9月1日(木) 【研修】

フレイル予防強化西部モデル地区
取り組みについて

障害者福祉部会

部会長	中野 京子 (城東)
副部会長	上原 由里 (本郷)
会計	大月 朋明 (波田)
書記	青木 健太 (庄内)
監事	片桐 博人 (寿)
顧問	中嶋 昇子 (中山)

・4月20日(水) 【研修】

松本市の障害者福祉制度について

・7月14日(木) 【視察研修】

・9月14日(水) 【研修】

障害者支援について

主任児童委員会

委員長 赤井 幸子

昨年度に続き書面
表決にて総会を行
い、今年最終年度が
スタートしました。
委員それぞれの活動
年数は違いますが、
総仕上げの年にな
りました。

5月に松本児童
園、岡谷こどものく
にへの視察研修、7
月に全体研修会「子
どもを取り巻くネッ
ト環境」、9月に健
康運動指導士の方を
お願いして講演会を
計画しています。学
びを日々の活動に結
び付け、赤ちゃん訪
問、子育て支援活動
などを通して、お母
さん達の気持ちに寄
り添い、子ども達の
健やかな育ちを支え
ていきたいと思いま
す。

広報部会

部会長 藤森 新一

部会長として、微
力ではありますが、
役員や編集委員の皆
さんのご協力を得な
がら、その責を果た
したいと思っています。

コロナ禍で、民生
委員・児童委員の活
動が制限されている
ため、委員どうしの
意思疎通が欠け、関
係機関との情報共有
も不足しているよう
に感じています。こ
うした状況のもと、
広報誌が果たす役割
は大きいと思いま
す。「ふれあい」が、
委員の皆さんの日常
活動の一助となるよ
う、紙面づくりを進
めていきたいと思っ
ています。



社会福祉部会

部会長 巢山 修作

何かと活動自粛の
多いこの頃ですが、
3月に役員会を開催
して年間の活動を計
画いたしました。4
月に松本市福祉計画
課より講師をお招き
して社会福祉制度に
ついての基本を学び
ます。6月には視察
研修として障害者支
援施設「小諸学舎」
に訪問して、学び、
働き、生活する場を
見学します。10月
には生活保護制度に
ついての講習会を開
催する予定です。研
究の成果が日々の活
動に生かせるように
全員の参加で盛り上
げたいと思います。

何かと活動自粛の
多いこの頃ですが、
3月に役員会を開催
して年間の活動を計
画いたしました。4
月に松本市福祉計画
課より講師をお招き
して社会福祉制度に
ついての基本を学び
ます。6月には視察
研修として障害者支
援施設「小諸学舎」
に訪問して、学び、
働き、生活する場を
見学します。10月
には生活保護制度に
ついての講習会を開
催する予定です。研
究の成果が日々の活
動に生かせるように
全員の参加で盛り上
げたいと思います。



児童福祉部会

部会長 後藤 充子

コロナ禍で学校訪
問や子供会活動の中
止で子供達とのかか
わりが少なくなっ
てきています。役員
会も延期され3月
に行いました。

今年度は児童の現
状について研修を行
うことになりました。
児童相談所や児
童福祉施設の視察、
また、障がい児の現
状についての研修を
通して具体的に児童
に実態（虐待・犯罪
他コロナ禍で変わっ
てきたことなど）を
研修し、これからの
民生児童委員として
の活動のあり方を考
えていきたいと思っ
ます。

高齢者福祉部会

部会長 大沢 勝人

コロナ禍により、民
生委員・児童委員の活
動が制限されている
中、3月に役員会を開
催して、昨年までの活
動を参考に、今年度
の活動計画を決めま
した。

1回目の研修は4月
に高齢者福祉制度に
ついて座学研修を行
います。
2回目は視察研修と
して7月に施設（調
整中）研修を予定し
てお
ります。
3回目は松本市健康
づくり課による「フ
レイル予防強化西部
モデル地区」取り組
みについて9月に研
修したいと思っ
ます。

日頃の活動の一助
となるように計画し
たので会員の皆様
のご協力をお願い
します。

障害者福祉部会

部会長 中野 京子

今年度の障害者福祉
部会、会長になりま
した中野と申しま
す。ろしくお願い
いたします。民生
児童委員を引
きうけて、7期
目も最後の年
となりました。

私が民児協に入
った頃は、今ほど
仕事が多くあり
ませんでした。1
期目は、仕事の
内容・訪問の仕
方について自分
なりに考え緊張
して行ってきました。
な
れてくるにした
が、地域の皆
さんとの絆を
感じました。障
害者福祉部会
は2回目です
が、委員の皆
さんに協力を
いただきなが
ら、視察、研
修をしたいと
思います。2年
ほどコ
ロナ流行の
ために計画
通り進まな
かったと思
いますが、今
年はコ
ロナが終
息する事
を願い、計
画通り進
めていき
たいと思
っています。

主任児童委員さんにお聞きしました

芳川地区

芳川地区民生委員・児童委員協議会

主任児童委員

南山

京子

私が主任児童委員の活動を始めた頃は、こんなにコロナ禍に翻弄される時代がやってくるとは想像もしませんでした。赤ちゃん訪問も今期は半分以上が中止になりました。

芳川地区は出生数が多く、年間170〜200戸程の訪問があります。可愛い赤ちゃんに会い、若いお母さん方とお話してできる訪問活動は、私たちをほんわかとした気持ちにさせてくれます。訪問時には、芳川地区で行っている「ぼかぼかくらぶ」とつどいの広場のお便りの他に、民生委員手作りのカードに委員の名前や子育てに関わる情報を載せてお届けしています。「ぼかぼかくらぶ」は13年目を迎える活動で、0歳児親子が講師からママヨガ、ベビーマッサージなどの指導を受け、お母さんどうしの交流の場にもなっています。2〜3人目と訪問した時、「ぼかぼかくらぶはまだまだやってますか。



ぜひ行きたいので。」という声を聞くとこちらも嬉しくなります。社会とのつながりを持ちたいお母さんたちが多くいらつしやるなと思います。訪問中止の時には、芳川地区のお便りだけでもと思い、ポストインで情報を伝えることも行いました。

お母さんたちに子育てしやすい地域だと思ってもらえるように、微力ながらも子育て支援の活動を続けていくことが私たち主任児童委員の大切な役目だと思い、がんばっています。

また、南部ブロックの仲間と子どもプラザやえんパーク、えんテラスの視察研修ができ、赤ちゃん訪問時の話題に役立たせてもらっています。

新村地区

新村地区民生委員・児童委員協議会

主任児童委員

古畑

崇子

「こんにちは赤ちゃん事業」の大切さ

共働き世帯や核家族などの増加により、地域における乳幼児期の子育て支援に対する需要は多岐にわたります。また増加もしてきています。この事業は、里帰り出産で、長期間留守にする家庭があるため、訪問率は90%程度ということですが、親御さんにとつての相談の場の一つであることは確かだと思っています。

私たちは、市長のプレゼントを持って訪問し、地域の子育て支援に関する情報や、お母さんから悩みを聞き、市の子育て支援のサービスについてお伝えし、家庭と地域をつなぐ役割を担っています。

今期の訪問は、コロナ禍の合間をぬって実施しているため、訪問できない家庭も多く、とても残念です。このような中でも、訪問したお母さんから、連絡先をみて相談の電話をいただいたり、また来てほしいと再訪問の依頼があると、この訪問の意

義や目的のためというより、何故か私自身うれしくなり、やりがいを感じる場面でもあります。

専門職の新生児訪問のほかに、民生・児童委員が赤ちゃん訪問をしている市町村は、まだそんなに多くはないようですが、私たちの活動は、地域の中で子育てのサポート、つまり応援者なのだと思います。指導的立場ではなく、気軽にこちらから声を掛けたり、また声を掛けてもらえる存在でいたいと思います。

赤ちゃんの純真無垢な顔を見ると、私たちが幸せを分けてもらっているように感じます。生まれてくるお子さんは地域の「宝者」です。この事業を大切に活動したいと思います。



連載

今回のニューフェイス

令和元年12月1日から任期をスタートさせた1期目の民生委員児童委員さんにお話を伺いました。

松南地区

松南地区民生委員・児童委員協議会 原 由美

「私にできるのかな?」と、不安を抱えたまま引き受けた民生・児童委員。気が付くと2年の月日が経っていました。

新型コロナウイルスの影響で、訪問したお宅で「こんなコロナの時代に来るな。」と、大声で怒られたこともありました。辛く悲しくなりましたが、民児協の定例会の際、他の先輩委員の方々から、温かいお言葉をかけていただいたり、アドバイスをいただき乗り越えることができました。定例会で相談してみてもよかったです。

怒られたこともあり、訪問することには抵抗を感じていた時の見守り見回りは、夕方、息子と一緒に散歩をしながら、在宅の確認、電気が付いているか、郵便物がたまっていないかを見て回りました。

そんなある日、ご近所の方から「Aさん宅いつもスムーズに回る回覧板が滞っているよ。」と、連絡をいただきました。すぐに電話をするも出てもらえず。訪問して

も出てもらえず。町会長にも協力してもらい、やっと連絡が取れた時には1人で部屋で倒れていたそうです。その後、入院されて元気に帰宅したAさん。ご近所の協力もあり最悪の事態は免れました。地域のつながりの大切さを実感したと共に、民生児童委員の活動の重要さを学ぶことができました。

義務教育中の息子と一緒に訪問活動をしたり、町会サロンに参加したりしています。「ぼく(息子)大きくなったね。」と、声をかけてくださり、一緒に成長を見守ってもらえているようで嬉しくなります。

息子も「今日、Bさん元気に歩いている姿見かけたよ。」と、自然に見守り活動をしてくれていて、心が温かくなりました。

「自分らしく、やれることを無理なくやろう」と決めてがんばっています。

人は温かく、そして優しいです。そう実感できる仕事は、民生児童委員だと思います。

地区活動の様子

城東地区

〈ふれあい防災祭り〉

10月24日

中央地区

〈お花見会〉 4月9日



▲ カレーの炊き出しを行いました。晴天に恵まれ、大盛況のうちにカレー 300 食をお渡しすることができました。



▶ 感染予防対策をして3年ぶりに開催しました。

民生委員・児童委員と地域包括支援センターの関わり

ありがとう。思い出の詰まった素敵な我が家

波田地区

民生委員・児童委員協議会

会長 古波田 守

一期3年目の最終年を迎えましたが、振り返ってみますと今期は現実のことは思えない新型コロナウイルスの感染により地域社会の歯車が噛みあわず、人と人との交流やふれ合いなどが断絶と制限といったかつて経験したことのない未曾有の事態へと発展し、日常生活の大きな悩み事となっていました。しかし、このあつてはならない希少な経験を決して無にすることなくプラス志向で乗り越え、未来社会につなげていくことが今を生きる私たち大人の役割でもあり使命でもあるような気がします。一日も一刻も早く安心して暮らせる世の中になってほしいと心から願っております。

さて、今回広報部会から標記のテーマをいただき、個人情報に抵触しないように配慮しながら関わりました事例を紹介し「地域包括支援センターとの関わり事例」について、

その一端を紹介させていただきます。

この事例は、日頃の見守り活動を通して不安を感じておりました事例です。この方は身寄りもなく一人暮らしの高齢者で現在介護保険制度で適用されている在宅福祉サービスを活用しながら日常生活を送られております。自宅内の環境に目を向けますと改善が必要な状況にもあり、身体的な機能低下もいかがわね将来的な一人暮らしに不安を感じておりました。そこで地域包括支援センターのご担当の方に施設福祉の対応についてご相談したところご本人の意向を伺っていただけることとなりました。私も交え三者で話し合いをし、担当の方も言葉を選びながら親身になって相談にのじていただきましたがご本人の在宅での意思が固く施設福祉にはつながらりませんでした。この事例から学んだことですが、ご本人にとつては慣れ親し



んだ生活環境がたとえ今以上に最適な場であつたとしても生き抜いてきた人生の歩みの思い出や大事にした大切な宝物が詰まった我が家こそが何よりも自身を癒してくれる暮らしの場であり、私自身にとりましてもつまされる思いがした事例です。

地域包括支援センターという高齢者福祉を担う頼りになる館が設置され、時代とともに福祉業務も複雑多様化するなかで、その果たす役割は極めて重要な機能であるものと思えます。時代に即した福祉機能を充実させ、だれもが訪れる老いにたじろぐことなく心穏やかに暮らすことのできる、そんな福祉国家であつてほしいと願っています。

最後に、こんなことをふと思いました。超少子高齢型人口減少社会といわれて久しいわけですが、いままでも地域社会を牽引されてこられた高齢者の皆さんに向ける眼差しが問われているのではないのでしょうか。

波田地区

〈おせち料理お届け事業〉 12月30日



ひとり暮らしの高齢者の方に、おせちをお届けしました。

My day 私の1日

デイサービスセンター
カモミールハウス野溝

和田 由佳

デイサービスは施設ごとに特色があり、デイサービス独自の取り組みが多く見られます。私が勤務しているカモミールハウスについてご紹介させていただきます。

朝ご自宅までスタッフが迎えに行きます。ご利用者様に合わせ車椅子でのお迎えも可能です。デイサービスに到着したら、検温や血圧測定などの健康チェックを行います。コーヒーや紅茶、お茶、好きな飲み物で一息。その後、バイタルチェックが終わっている方から入浴タイムとなります。季節に合わせたイベント風呂を毎月実施しています。ゆったりとした温泉のような大きな風呂で心身共にリラックスできます。また、湿疹等身体の状態変化を早期に見てくれます。

皆さんが過ごされている共有スペースでの過ごし方をご紹介させていただきます。コロナ感染予防対策を講じたうえで、創作活動、カラオケ、お喋りを楽しんだり、読書や工作など個人的な趣味を楽しむことができます。季節ごとのイベ

ント、食のイベント等春夏秋冬を五感で味わえるような取り組みを工夫しながら実施しています。そんな中でも印象に残っている海外グルメイベントについてです。イタリア、中国、韓国の三ヶ国のグルメイベントを開催しました。スタッフはその国の衣装に着替え、それぞれの国のお食事を味わっていただきました。普段なかなか外食ができない中、こうした食のイベントはとても好評です。

カモミールハウスでのもう一つの取り組みとして、マイメモリーズと言うお一人お一人のアルバムを作成しています。レクリエーション、イベント等を写真におさめ、日々の思い出として一冊にまとめています。完成したアルバムは、お持ち帰りいただけます。振り返ることができる宝物です。その他にも音楽療法、オンラインチャエヨガなど楽しみながら行える運動を実施しています。運動の後はおやつタイム。そしていよいよお帰りの時間、来られた時と同様、ご自宅までスタッフがご送ります。ご利用者様を無事にご自宅までお送りし、玄関先で「楽しかったよ、またね。」「ありがとう。」と笑顔でお見送りして下さる姿にホッとする瞬間です。

ご利用者様が「私らしく」過ごせる居場所作りに努めていきたいです。

芳川地区

〈ぽかぽくらぶ〉

3月16日



講師の先生を招いてベビーマッサージをしました。

〈ふれあい健康教室〉

3月23日



薬剤師さんの「お薬なんでも講座」

鎌田地区

〈出前ふれあい教室（征矢野町会）〉

11月26日



感染予防対策をして、久しぶりの出前ふれあい教室でした。参加人数はいつもより少なめでしたが「いきいき百歳体操」を行いました。

子どもの居場所づくり推進事業について

松本市役所

こども福祉課 新村 弘樹

松本市は、子どもの貧困対策の一環として、平成29年度から「子どもの居場所づくり推進事業」を実施しています。

●参加対象の子どものについて

「貧困＝経済的困窮」と受け止めることが多いかと思えます。しかし、松本市では、同年に策定した「松本市子どもの未来応援指針」において、経済的困窮への対策だけではなく、子どもたちを取り巻く生育環境が悪化し、権利侵害が発生するおそれがある状態（心や経験、つながり、文化の貧困など）も「子どもの貧困」ととらえ、その改善に取り組んでいます。

このことから、参加者を限定せず、居場所を必要とする子どもを広く対象とすることとしました。

●事業の内容について

この事業では、子どもへ食事提供と学習支援（または生活相談）を提

供する「居場所」を開設した町会や市民活動団体などへ交付金を交付しています。いずれの団体も、子どもに美味しい食事を食べてほしい、地域の伝統行事を体験してほしいという「地域で子育て」の想いのものと毎回工夫を凝らしています。

令和2年度に実施したアンケートでは、9割以上の子どもたちが「嬉しかった」「自信がついた」と回答していることから、居場所への参加により、子どもたちの自己肯定感がより向上している成果が伺えます。

子どもの居場所の継続的な開設が可能となるように、今年度からは支援者の負担軽減が図れるよう、軽食の提供も交付要件としたほか、交付金に学習支援者への報酬を追加するなど内容を充実させました。

今後も、子どもたちの生き生きとした表情で満ちた、学校でも家庭でもない「居心地の良い地域における団らんの場合」、そんな居場所が市内各地に拡大することを願っています。

つづき

松南地区民生委員・

児童委員協議会

加藤 恭子

仕事をしながら民生児童委員をしている方が増えていきます。できる限り仕事を休まず活動が出来るようなら、引き受け手が増えるのではないのでしょうか。

若い人にも、男女も関係なく、より多くの人に引き受けてもらえるような、敷居の低い組織であって欲しいと思います。

次の民生児童委員さんを探している者のつづきでした。



編集会議風景

編集後記

第84号ふれあいが、皆様のご協力により発刊できることに感謝申し上げます。

今、コロナ禍で自粛、会が中止になる中、民生児童委員として距離をおいての見守りと話しの聞き役に徹しようという心掛けております。

昨今、テレビを付ければ戦争で破壊された街並みが映り出されます。改めて日本に生まれて良かったと、又、平凡でも極普通の暮らしが何より幸せだと、思い知らされたような気がしますが、皆さんはどう思われますか…（H・Y）

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。取り上げてほしいテーマなどがございましたら事務局までお知らせください。

TEL 27-3381 FAX 27-2239